



9/28 議院運営委員会で質問に立ちました



質問のポイント (新型コロナウイルス感染症対策について)

- 家庭内感染が拡大した第5波の教訓を活かし、「**自宅**」で「**無料**」で検査ができる**抗原検査キット**を国民に広く配布するよう提案
- 安全性の確認を前提に、**5歳から11歳**の子どもへの**ワクチン接種**の検討を要請
- 重症化を未然に防止するため、自宅療養者への抗体カクテル療法の処方に併せ、**飲み薬タイプの治療薬の早期開発・提供**に向けた国の支援を要請

【抗原検査キットの無料配布】

○はまぐち誠の質問・提案

○感染者の早期発見に向けて、希望者へ**自宅**で**無料**で検査ができる**簡易検査キット**を配布し、検査体制を強化していくべきと我々**国民民主党**は提案をしている。政府の見解を問う

(西村 経済再生担当大臣) ご指摘の簡易検査キットについては、高齢者施設や医療機関、保育所などに550万回分、大学、高校、専門学校などには約45万回分、小中学校、幼稚園にも約80万回分を無償で配布しているところ。また、昨日、厚労省は特例的な対応として、**抗原簡易検査キット18種類を薬局で販売可能**とする事務連絡を発出した

○不安があれば検査をする。そのマインドを高めていくためにも、「**無料**」で「**自宅**」でできる、ここにこだわった政策を是非検討してもらいたい

【子どもへのワクチン接種】

○海外では子どもへのワクチン接種に検討も始まっている。日本においても、デルタ株を始め感染のリスクが高まっているという現状を踏まえ、**安全性の確認を前提に、5歳から11歳へのワクチン接種について検討をすべき**と考えるが、政府の見解を問う

(西村 経済再生担当大臣) 現在、ファイザー及びモデルナの両社において、**海外で生後6か月から11歳を対象とした臨床試験が実施**されていると聞いている。何れにしても、ファイザー、モデルナ社から提出されるデータに基づいて厚労省において適切に判断、対応されると承知している

【飲み薬タイプの治療薬の早期開発・提供】

○今の抗体カクテルについては点滴でないと処方できないというのが大きなハードルの一つになっている。今後は飲み薬タイプの治療薬の**開発を国がしっかり支援**をして、**早期に提供**できるようにしていくべき。製薬会社への支援の状況と、提供のタイミングについて伺う

(菅 内閣総理大臣) 飲み薬タイプの薬については、**早ければ年内を目指して開発が進められており、承認され次第投与できるように交渉を今進めている**。他の国に後れを取らないよう、そこは今しっかりやっている。また、研究開発や医療機関の治験などを**予算措置により積極的に支援**しているところ